

中間報告パブリックコメント意見要旨

募集期間：平成27年1月15日（木）～1月29日（木）
 提出者数：6人（持参1人、ファックス2人、電子メール3人）
 意見件数：19件

区分・分類	意見要旨	市の考え方
計画全体に係るご意見	○ 一般廃棄物処理基本計画の目指すところが持続可能な循環型社会である以上、回収したごみを市がどのように処理するかということと同時に、まず市民一人ひとりがどのように、どれだけごみを減らすかということを経済課題にしていかななくてはならないと思う。この基本計画の中では個別の具体策がないために、市民に真剣にごみ減量と迫ってくるものが見えてこない。	○ 計画は大きな方向性を示すものですので、現記載内容にあるような抽象度が適切なものと考えます。
	○ 施設・計画事業にはごみ減量についての殆どの問題点が取り上げられている。問題は、それらをいつ実行に移すかということだと思う。行政には、市民の嫌がることも必要と思う事はおし進める勇気を持ってもらいたい。	○ ご意見として受け止めます。
基本方針についてのご要望	○ 広報等で定期的に情報を発信して、ごみ問題を話し合える環境づくりを広報のあり方も含めて、市の責務として加えて欲しい。	○ 広報については市の責務ととらえており、そのように記載しております。
主な施策の「連携の推進」に関するご意見	○ クリーンむさしのを推進する会の活動が評価され、ごみ減量活動の代表的な市民団体として記述されたことに感謝する。今後の活動の励みとなる。	○ ご意見として受け止めます。

区分・分類	意見要旨	市の考え方
ごみ・資源物の発生抑制・排出抑制に関するご意見とご要望	<p>○ 主要事業に店頭回収を極力行うとあるが賛成である。店頭回収を進めるために具体的な内容のある短期のロードマップが必要であると考えるがロードマップはどこで作るのか？ロードマップに基づき年次計画が作られ、そこで初めてそれをチェックする「市民会議」の役割がでてくると思う。ロードマップを作成してみたので参考にして欲しい。</p>	<p>○ 市が作成する実施計画の中で、可能な限りの計画表を作成します。ロードマップについては参考にさせていただきます。</p>
	<p>○ 主要事業の中の資源物の収集頻度の見直しや有料化という事が実施されれば、店頭回収が促進されペットボトルの行政収集をやめることも可能と考えられる。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p>
	<p>○ 収集回数への言及があったが、資源ごみの収集は不燃と同様月2回で十分である。ペットボトルも月1回とするか、スーパー等の拠点回収に移行させるべき。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p>
	<p>○ 燃やすごみの多くを占める生ごみについての記述がほとんどないことが残念。具体的な形で中間とりまとめに生ごみの減量を取り入れ、実行計画にも織り込んだ内容にすることを切望する。</p>	<p>○ 生ごみに関する記述として「4. (5) 生ごみ・剪定枝・落ち葉等資源化処理の取り扱い」を加筆しました。</p>
	<p>○ ごみ減量の具体策として、「生ごみを土に返す、または生ごみの堆肥化」を市民に課すことを計画の中に入れてほしい。さらに「生ごみ堆肥から元気野菜づくりをする」ことも目標に入れば環境に対して意識がない人も取り込むことができるのでなおよい。どんなことでも14万市民全員が一気に取り組むことなどありえないので、できる人から持続可能な社会に向けて動き出し、その運動をあきらめずに続けて広げていくことが大事だと思う。一人ひとりがやる気にさえなれば可能なのでぜひ[生ごみを土に返す、または堆肥化]を市民に課すことを計画に入れてほしい。</p>	<p>○ 生ごみの堆肥化については、生ごみ堆肥を使用できる畑も少なく、市民の方の堆肥化への取り組みは困難な面がありますので、取組の紹介や小学生などを対象とした環境教育などを通じて、持続できる取組を検討します。生ごみに関する記述として「4. (5) 生ごみ・剪定枝・落ち葉等資源化処理の取り扱い」を加筆しました。</p>

区分・分類	意見要旨	市の考え方
普及啓発の充実・拡充に関するご意見とご要望	<p>○ レジ袋削減キャンペーンとマイボトル・マイカップキャンペーンについて、主要事業として挙げられている。ライフスタイルを変える象徴として、この二つを一緒にキャンペーンしていけると期待する。マイバッグキャンペーンはマンネリ化してきているので、マイボトルキャンペーンと合わせて実施を検討していけば良いのではないかと。マイボトル・マイカップ使用の推進を全庁的な取り組みとすることを要望する。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p>
	<p>○ 現在、おむつを可燃ごみとして収集しているが、生ごみ以上に水分の問題が大きいと思う。「おむつは出来るだけ絞ろう」という啓発をしてはどうか？おむつを減免対象からはずすという事も考えられる。また、使い捨てではごみが増えるので、布おむつの使用推奨も必要と思う。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p>
	<p>○ 毎年実施しているJR三駅周辺の清掃活動イベントにおいて、市は参加者にごみ袋や軍手を配布しているが、これらもごみになるのでごみを増やしているようなもの。各家庭から袋や軍手を持参する事を徹底して欲しい。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p>

区分・分類	意見要旨	市の考え方
	<p>○ 広報等で定期的に情報を発信して、ごみ問題を話し合える環境づくりをして欲しい。現在、新クリーンセンターについて市民参加の施設・周辺整備協議会などで検討されているが、そこで検討されていることは市民にほとんど広報されていない。周辺住民として、全市民にクリーンセンターのことを知ってごみ減量に努力して欲しい。ごみは全市民の問題なのだから全市民で検討することが必要であると思う。しかし、全市民に向けた新クリーンセンターについての広報は、市報や他の広報の一部にしか載せられていない。市民のごみに対する関心を高め、みんなで検討できる環境をつくるためにも、必要な情報をわかりやすく、定期的に、インターネットだけでなく、発信して欲しい。</p>	<p>○ ご指摘のとおりと考えます。ごみ問題については全市民の問題と考えることが重要ですので、市民へのより良い情報提供について検討していきます。</p>
普及啓発の充実・拡充に関するご意見とご要望	<p>○ 生ごみの堆肥化と活用について、市民の関心が強くなると同時に、農家の生ごみ堆肥に対する抵抗感が薄らいできたものと感ずる。生ごみ堆肥の使用に市民が気軽に取り組む場は市民農園と思うが、現状の貸出期間が2年間である。有機栽培が結果を出すには3年は必要と思われるので、生ごみ堆肥を活用していく市民を対象に3年間を利用期間とする「特区」を一部の市民農園に設ける事を提案する。</p> <p>○ 生ごみの減量について、市内9か所の「市民農園」の募集に際し生ごみをたい肥等として有効利用する人々が優先利用できるようにして欲しい。年間を利用期間とする「特区」を一部の市民農園に設ける事を提案する。</p>	<p>○ ご意見として受け止めます。</p> <p>○ ご意見として受け止めます。</p>
今後求められるごみ処理施設等のご質問とご要望	<p>○ 「(5) その他の検討事項」とは具体的に何であるのか、例としていくつか明記して欲しい。</p>	<p>○ 事業案に記載しています。</p>

区分・分類	意見要旨	市の考え方
	<p>○ (1)～(5)までに、さらに市内の環境団体のネットワークを結ぶことを加えて欲しい。さまざまな環境団体は、人材資源である。行政がそのネットワークを活用しながら、市民も活動を活かして広げて行けると思うので、ぜひ、検討に加えて欲しい。</p>	<p>○ 「1 (1) 市民団体の活動支援とコミュニティ・ネットワークの整備・拡充」の事業案に記載しています。</p>
最終処分に関するご意見	<p>○ ごみを焼却炉で焼却し、焼却灰をエコセメントにすること自体が、持続可能な社会と反対の方向に進んでいることであり、やむ終えずやっていることなので、エコセメントが最終処分場の救世主になったからといって安心してはいけない。市はもっと市民一人一人に対して真剣にごみを減らすことを求めて、焼却灰や、エコセメントを減らしていかななくてはならないと思う。</p>	<p>○ 事業概要、ごみニュースなどで周知に努めていますが、重要な事柄ですので周知方法については具体的施策の中で検討します。</p>
計画の推進に対するご意見	<p>○ 計画の進捗管理体制の確立は、画期的なことと評価されるが、実効あるものとするためには、記載されている主な事業の年次の実行計画の指針となる具体的にどう展開していくか5年間のロードマップが必要と思われる。ロードマップは関係する市民・事業者・市職員で協議作成することが望ましいと思われる。市民レベルで日常ごみ減量に結びつくアクションは、ごみの種類たとえば生ごみ・容器・紙・その他について具体的に何をやるかを明示し、啓蒙することが良いと思われる。以上のような観点から、別紙「ごみ長期計画 (H27～36) 織り込み家庭系施(案)」を作成したので今後のロードマップの作成等の参考にしていきたい。</p>	<p>○ 市が作成する実施計画の中で、可能な限りの計画表を作成します。ロードマップについては参考にさせていただきます。</p>